

大好き田無!

田無小学校は来年度に140周年を迎えます。今年度は、「田無小学校への愛着を深め、一層の学校愛を抱く」ことをねらいとして、学校や地域のことをよく知り、理解できるようにと全学年で取り組んできました。

4年生は、田無の紹介したい場所(田無神社、旧東大農場(注)、地域の商店他)を決め、その場所に行って取材をし、田無ガイドブックを作成しました。

6年生は、歴史の学習の発展として、「田無小の大先輩に聞く」と題して、還暦を超える大先輩の卒業生の方々から、戦中・戦後の学校のことや暮らしのことなどを伺って学習を進めました。

これらの学習活動を通して、改めて田無という地域や田無小学校を知り、「大好き田無!」のテーマに迫ることができました。

(注)正式名称:東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構



田無小学校

6年生大先輩に聞く

園児と昔遊び

「えい!」と気合いを入れて、こまを回します。

1年生は、生活科の「昔遊び」で体験したこまやけん玉を幼稚園児に見せたり、国語で書いたかるたを使って遊んだりする交流の機会があります。1年生は、来年入学する園児に対して、どの子も遊び方をやさしく説明します。小学校で初めてお兄さん・お姉さんとして活躍する機会です。園児は少し緊張しながらも小学校を楽しんで帰ります。

本校では、このような交流活動を通して、いじめをしない心や人への思いやりに深い心を育てていきます。また、近隣の中学校や小学校とも連携して地域で子どもを育てていきます。

谷戸第二小学校



幼稚園児とやさしく、楽しく交流する1年生

異年齢集団活動

本校では、異年齢集団による活動を通して、思いやりの心を育むことを大切にしています。特に1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生で「なかよし学年」をつくり、年間を通して活動をしています。「なかよし学年」の活動には「遊び集会」「読書郵便」「行事の手紙交換」「郊外に出かけての交流活動」などがあります。上級生はリーダーシップを発揮し、下級生はフォローシップを身につけます。異学年の親睦を図り楽しく豊かな学校生活を送ることができるよう取り組んでいます。



東伏見小学校

なかよし学年「遊び集会」

温かな言葉があふれる学校に

児童の心を育て、いじめをなくすために、相手から言われると心が温くなる“ふわふわ言葉”を増やし、相手の心を傷つける“チクチク言葉”や呼び捨てをなくす取組を、全校で年間を通して行っています。ありがとう・がんばってね・どんまいなど、ふわふわ言葉を言うと『ふわふわ言葉すてきだねカード』がもらえます。先生からもったり、児童がお互いに渡し合ったりしたカードを掲示板に貼ります。チクチク言葉や呼び捨てをなくす方策は、児童の主体的な活動になるよう各学年児童の発想を生かして取り組んでいます。

保谷第二小学校



ふわふわカードをもらったよ!

こころゆたかに



西東京市マスコットキャラクター「いこいーな」 ©シンエイ/西東京市

東小の90冊

本校では、「東小の90冊」として学年ごとに必読図書を設定しています。(1年生20冊・2年生20冊・3年生20冊・4年生10冊・5年生10冊・6年生10冊)

全ての必読図書を読み終えると全校朝会時に校長先生から「完読賞」が授与されます。子どもたちは、6年間で6枚の完読賞を目指しています。そのため、意欲的に図書室に通う子どもたちの姿が多く、読書活動が盛んになっています。

また、子どもたちが楽しみにしている毎月の「東小読み聞かせの会」による読み聞かせも本校の読書活動の土台となっています。読み聞かせのあったその日は、いつも以上に図書室がにぎわいます。

東小学校



茶道体験が育てる「おもてなし」の心

保谷小学校では、毎年、地域の茶道講師の皆様のお力をお借りして、茶道体験に取り組んでいます。今年度も12月に6年生が緑川先生を始めとするお茶の会や育成会の皆様のご指導のもと、お茶を淹れる、お茶を頂く体験学習を行いました。

優しい指導の言葉の中には、常に凛とした「おもてなし」の心が込められており、感じ取る子どもたちの背筋も自然と伸びています。1月には保谷カヨ子先生による3年生の茶道体験が行われました。保谷小学校では、このような体験を積み重ねる中で、「礼」の形に込められた思いを少しずつ感じ、心を育てているのです。



保谷小学校

緑川澄仙(茶号)先生による茶道指導

伝統の音楽会

本校では、毎年音楽会があります。開校当時は隔年で行われていましたが、保護者・地域からの評判も高く、ここ数年は毎年行っています。

毎年見に来てくださる地域の方から、「年々すばらしくなっている。」「来年が楽しみです。」との声も多く聞かれます。

今年度も11月17日(土)に行われ、1~6年生、それぞれの持ち味を出した演奏や合唱を、多くの保護者・地域の方にご鑑賞いただきました。

まだ開校12年目のけやき小学校ですが、この音楽会が本校の伝統となっています。これからも、心に染み入る楽器の演奏やきれいな歌声を広いアリーナで響かせ続けていきます。

けやき小学校



6年生合唱『ルパン三世』の様子

心をひとつに!音楽会

栄小学校では、文化的行事で3年に1回、音楽会を実施しています。今年度11月に「心をひとつに!ひびけ かがやけハーモニー」を合言葉に、工夫を凝らした合唱と合奏を披露しました。

内容は、ミュージカルの曲をアレンジしたもの、ミッキーマウスの耳を付けて演奏したマーチ、和太鼓を使った迫力ある民謡など心に残るものばかりでした。特に6年生は、クラシックの代表曲「美しき碧きドナウ」と「アイダ」に挑戦し、パートリーダーを中心に学年でも何度も練習して努力を重ねました。本番で心をひとつに頑張った子どもたちに、保護者や地域の方から大きな拍手が惜しみなく寄せられ、また3年後が期待されるすばらしい会を終えることができました。



栄小学校

アイダを披露する6年生

安全なまちで輝く子どもたち